

復旧に大規模補正予算

一般会計補正予算51億7000万円追加(39億5890万円は、国、県対応分)

H28年 第2回 定例会

第2回定例会は、6月23日開催され、熊本地震の対応に配慮して1日で閉会した。平成28年度一般会計補正予算など議案12件(条例6・予算6)、議員発議7件、請願1件を原案通り可決。人権擁護委員に今村理恵氏を推薦、教育委員会委員に、後藤隆興氏を任命する案に同意。一般質問は行わず、総務常任委員長が代表質問をした。

6月定例会は熊本地震後初めての定例会。28年度一般会計に51億7000万円、特別会計に1億6200万円の大規模な補正予算がなされ一般会計の総額は142億4400万円となった。歳出は、ほぼ全額が地震関連費で、家屋解体・運搬費に21億8950万円。災害廃棄物処理業務委託費11億3800万円。復旧費は公共土木関係7億9400万円。農林水産関係1億7173万円。文教施設関係2億5000万円。激減している観光客対策として、国の交付金を活用した観光費6800万円。経営体育成支援事業(熊本地震対応分)2億円。特別会計は、水道関連に1億8000万円、生活排水関連35000万円等。



公共土木関係【7億9400万円】



家屋解体・運搬費【21億8950万円】



農林水産関係【1億7173万円】



災害廃棄物処理業務委託費【11億3800万円】

【決議】議員発議

熊本地震にかかる南阿蘇鉄道の

早期復旧に関する決議

熊本地震によって南阿蘇鉄道は甚大な被害を受け、復旧のめどはたっていない。全線復旧は巨額な予算が必要であるため、国及び県に補助措置の支援要望活動を議員一丸となり、取り組んでいく。

南阿蘇村関係の第3セクター

統合促進に関する決議

村内の第3セクター(株はくすい・株くぎの・株ちようようへの、村の出資額は9495万円。震災後の環境の厳しさを鑑み、合併後11年経過した今、早期に統合し、類似施設の統廃合、経営の一体化、改革等を行い、これまで以上の情報公開、説明責任が必要である。よって今年中の統合実現を南阿蘇村及びそれぞれの第3セクターに強く求める。

以上全会一致で可決

【請願書】

南阿蘇村高野台分譲地被災に

関する請願

請願者 高野台分譲地代表 緒方真由美
紹介議員 市原 秀志

高野台分譲地を土砂災害特別警戒区域に指定し支援措置を。固定資産税を止め、土地を含めた罹災判定を行い全戸全壊判定を希望する。

全会一致で採択